

平成30年度教育研究活動報告書

氏名	原卓史	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士(文学)	職位	准教授
専門分野	日本近現代文学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	日本語表現法、日本文学史、日本文学講読、近現代文学専門演習、日本文学講義
II 研究活動	
現在の研究テーマ(3つまで)	
(1) 坂口安吾・太宰治などの研究	
(2) 歴史・時代小説研究	
(3) カストリ雑誌研究	
本年度を含む過去3年間の研究業績 H30・H29・H28(件数は追加可)	
H30 <論文> 「坂口安吾「墮落論」の反響—文学史のゆくえ」(『尾道市立大学日本文学論叢』二〇一八年一月) <資料紹介> 「『オール不夜城』総目次」(『尾道市立大学芸術文化学部紀要』二〇一八年三月) <研究動向> 「時代小説」(『昭和文学研究』二〇一八年九月)	
H29 <論文> 「和田竜『村上海賊の娘』論—成立過程と人物造型をめぐって」(『尾道市立大学談話会会報』二〇一七年二月) <資料紹介> 「『獵奇』総目次」(『尾道市立大学芸術文化学部紀要』二〇一七年三月) <資料紹介> 「高麗郷由来(小特集 坂口安吾蔵書書込の翻刻と解題)」(『坂口安吾研究』二〇一七年三月)	
H28 <論文> 「坂口安吾「墮落論」論—武士道をめぐって」(『尾道市立大学日本文学論叢』二〇一六年一月) <資料紹介> 「『共樂』総目次」(『尾道市立大学芸術文化学部紀要』二〇一六年三月) <研究動向> 「【表現学関連分野の研究動向】 日本文学研究(近代)」(『表現研究』二〇一六年四月)	
H27以前の主な研究業績(件数は追加可)	
(1) <単著> 『坂口安吾 歴史を探偵すること』(双文社出版 二〇一三年五月)	
(2) <編集協力> 越前谷宏他編『田中英光事典』(三弥井書店 二〇一四年四月)	
(3) <論文> 「安吾と飛騨—「夜長姫と耳男」への道程」(『坂口安吾研究』二〇一四年一月)	
(4) <論文> 「黒田官兵衛」小説の系譜」(『叙説Ⅲ』二〇一四年三月)	
(5) <論文> 「坂口安吾「風と光と二十の私と」論—教室のなかの「私」/小説家になった「私」」(『芸術至上主義文芸』二〇一四年一月)	
学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績) H28・H29・H30	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
所属学会：日本近代文学会、昭和文学会、芸術至上主義文芸学会、横光利一文学会、坂口安吾研究会など 所属学会の役職：坂口安吾研究会運営委員長(二〇一八年九月～現在に至る)	
IV 社会活動	
1. 学外活動(本年度1年間の活動状況) (件数は追加可)	
(1) 出張授業：「坂口安吾「ラムネ氏のこと」の成立過程をめぐって」(於比治山女子高等学校 二〇一八年一月二五日)	
(2) 教養講座：「白石一郎『海狼伝』を読む」(於しまなみ交流館大会議室 二〇一八年一月三一日)	
(3) 運営委員長として研究会への参加：坂口安吾研究会第34回研究集会への出席(於日本大学商学部 二〇一九年三月九日)	
公開講座	1回
出前授業	1回